女子だって強いんだぞ

校長 武井 正明

6日金曜日。卓球団体を皮切りにいよいよ地区大会が始まった。

吉中の先陣を切って、卓球部がまず勢いをつけてくれることを願い、午前は学校で仕事を片付ける。

昼前、中村先生からグループ2位で突破、午後のトーナメント進出、続いて西脇先生からも男子が予選1位で抜けた嬉しいメッセージが入る。もう気が逸る。

男女同一会場であることを忘れ、分水体育館に行くが、誰もいない…。カン違いしたことを覚る。人には事前の確認を！などとエラそうに言えたものではない。

慌てて一路三条体育文化会館をめざす。

ようやく着いた時には女子団体は対栄中戦が始まっていた。栄中は強豪だ。あっというまに良いところなく、呆気なくストレートで負けた。負けても、カメラに手を振り笑顔、これが救いだっただ。

終わってしまったか…と落胆していると、まだ敗者復活戦があるというではないか。一気に生き返った。まだチャンスはある。希望が湧いた。

卓球部女子とはどうもタイミングが悪く、会場に行くと、だいたい既に試合は終わっていて、皆で仲良くお昼のお弁当をつついているところによく遭遇した。その画もとても微笑ましく『学校日記』にアップしたいところだが、さすがに家庭科部でもないのに、卵焼きを食べているところを載せるわけにはいかなかった。

だから、ここからドラマが始まるとは彼女らには申し訳ないが、予想していなかった。

敗者戦は私の娘の母校、見附西中が相手。馴染みのある体操着、でも今日は負けるわけにはいかない。彼女らは栄戦の負けは、全く引き摺っていなかった。そして、サーブ技術に、確実に努力の跡が窺えた。ダブルスのふたりも戦況をよく分析し、互いに意思の疎通を図って、試合を組み立てる。気迫が球に移ったようだ。そしてなんと3-0のストレートで勝利を掴み、6位以内確定となり、長岡大会への切符を手中にした。

こうなったらもうひとつ!! 見附南戦は、勝利の勢いそのままに次々と逆転勝ち。普段は殆ど表情を変えない3年の彼女、自分が勝った瞬間ビクッと顔が震えた。それに私も驚いてしまい、絶好のシャッターチャンスを逃してしまった。連勝で見事5位!! 快進撃だ。

スタンドの1年生の応援、フロアの選手団、皆一体となった戦いだっただ。

この、授業とは別の、子ども達の輝く瞬間にこそ、部活動の醍醐味がある。

優勝した男子諸君はまた後日。昨日ばかりは主役は女子卓球部。本当によく頑張った。

今日は個人戦。私は男子のプレーに熱視線だ。ソフトテニス部、バスケ部も頑張れー!!